

情報提供日	2024年(令和6年)1月18日 No.0511
問い合わせ先	シテール推進室 天文科学館 (担当: 井上、鈴木)
	078-919-5000 (内線 7152)

報道機関のみなさまへ

石垣島天文台から生中継！ ウィンターナイトミュージアムを開催します。

星を見上げる場所が違えば、星の見え方が違います。例えば、冬に見られる一等星で「長寿星」と呼ばれるカノープスも、明石からだと南空の低いところにあるため見つけづらい星ですが、より南へへ行けば、より高い位置に輝き、見つけやすくなります。

2月10日(土)に開催するウィンターナイトミュージアムでは、石垣島天文台から生中継で石垣島の星空を案内していただく他、プラネタリウム特別投影や天体観望会を行います。ぜひ、貴メディアで報道・ご紹介いただきますようお願い申し上げます。

記

- 名称 ウィンターナイトミュージアム
- 日時 2024年2月10日(土) 午後7時00分～9時30分
- 定員 250人
- 料金 1,000円(駐車料金別途200円)
- 申し込み 1月20日午前9時から2月9日午後5時までに同館ホームページで先着順に受け付け(※ホームページで申込ができない場合は電話で問い合わせ)
- 内容
19時00分～19時30分 石垣島天文台について
(講師 石垣島天文台 花山秀和)
19時30分～21時00分 プラネタリウム特別投影、館内見学、
天体観望会「カノープスをさがそう！」
21時10分～21時30分 石垣天文台「むりかぶし望遠鏡」ライブ中継

【講師】石垣島天文台 花山秀和

1977年福岡県生まれ。国立天文台天文情報センター石垣島天文台室長・講師。東京大学大学院にて博士号取得後、石垣島天文台研究員などを経て2022年より現職。九州沖縄最大の口径105cmむりかぶし望遠鏡による天文学の広報・教育・研究活動に従事。2022年に天文学振興財団古在由秀賞を受賞。



【国立天文台 天文情報センター 石垣島天文台について】

自然科学研究機構 国立天文台、石垣市、石垣市教育委員会、NPO法人八重山星の会、沖縄県立石垣青少年の家、琉球大学の6者の連携によって運営される新しいタイプの天文台。九州・沖縄では最大の口径105cmの光学・赤外線反射式望遠鏡「むりかぶし望遠鏡」を備え、太陽系天体や突発天体の観測研究、天文学の広報普及を行っています。



【カノープスについて】

りゅうこつ座の一等星。北緯35度に位置する明石からだと南の地平線近くに見えるため、大気の影響で星の輝きは弱められ明るくは見えません。見える時期や時間も短く、見るのが難しい星であり、見ると長生きができる「長寿星」と言われています。また、明石からは淡路島のすぐ上に見えるため「淡路星」と呼ばれています。

北緯24度に位置する石垣島からは、カノープスも、より高い位置に見ることができます。